

2025 年 9 月 8 日

報道機関 各位

長崎大学附属図書館地域文化研究会公開講演会 「水中考古学からモンゴル襲来の実態を語る」を開催

長崎大学附属図書館地域文化研究会では、9月28日（日）に下記のとおり公開講演会を開催します。今回は長年にわたり松浦市鷹島海底遺跡の水中考古学調査を牽引してきた池田榮史氏をお招きし、モンゴル襲来の終焉の地となった伊万里湾での元軍船の発見をはじめとする研究調査成果をもとに、モンゴル襲来の実態や水中考古学調査の過去・現在・未来についてご講演いただきます。

つきましては、貴媒体にて本講演会の開催をご紹介しますとともに、当日の取材もご検討くださいますようお願い申し上げます。取材をご希望の場合は、事前に下記お問い合わせ先までご連絡ください。

- 日 時：2025 年 9 月 28 日（日）15：00～16：30 終了予定（開場 14：30）
- 場 所：長崎歴史文化博物館ホール（長崎市立山 1 丁目 1－1）
- 講 師：池田 榮史（いけだ よしふみ）氏
（國學院大學研究開発推進機構教授、琉球大学名誉教授）
- 演 題：「水中考古学からモンゴル襲来の実態を語る
モンゴル襲来解明を目指した松浦市鷹島海底遺跡の調査・研究
－ 過去（これまで）・現在（いま）・未来（これから）－」
- 申 込：不要
- 主 催：長崎大学附属図書館地域文化研究会※

※長崎大学附属図書館地域文化研究会とは、長崎大学の研究者による学部横断的な研究グループです。長崎の地域文化を研究し、新しい文化の創造や地域活性化に学術的に貢献することを目指しています。研究会では、研究会メンバーだけではなく、本学の学生、教職員、一般の方々を対象とした公開講演会等も実施しています。

【本リリースに関するお問い合わせ先】

長崎大学附属図書館

Mail: libsoumu@ml.nagasaki-u.ac.jp

TEL: 095-819-2193

長崎大学地域文化研究会公開講演会2025

水中考古学から モンゴル襲来の 実態を語る

モンゴル襲来解明を目指した松浦市鷹島海底遺跡の調査・研究
— 過去(これまで)・現在(いま)・未来(これから) —

2025年9月28日 (日)
15:00～16:30

(開場14:30)

定員 140名 無料

会場 長崎歴史文化博物館ホール
(長崎市立山1丁目1-1)

お問合せ 長崎大学附属図書館
TEL: 095-819-2193

《講師》

池田 榮史氏



1955年 熊本県生まれ

1981年 國學院大學大学院文学研究科
日本史学専攻(考古学系)博士課程
前期修了

琉球大学法文学部教授、同大学国際
地域創造学部教授を経て、現在、
國學院大學研究開発推進機構教授、
琉球大学名誉教授

《関連著書》

『海底に眠る蒙古襲来—水中考古学の
挑戦—』(吉川弘文館、2018年)、
『元軍船の発見—鷹島海底遺跡(シリー
ズ「遺跡を学ぶ」150)』(共著、
新泉社、2021年)など多数